

向こう3か月の天候の見通し 北海道地方 11月～1月

予報のポイント

- 11月を中心に暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の平均気温は平年並か高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量と日本海側の降雪量はほぼ平年並の見込みです。

この時期の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確実性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。

3か月の平均気温・降水量・降雪量


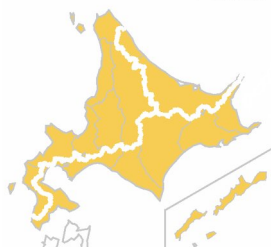


		平均気温（3か月）	降水量（3か月）	降雪量（3か月）
北海道	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	オホーツク海側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報しません
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報しません
<p>数値は予想される出現確率です</p>		平均気温（3か月）	降水量（3か月）	降雪量（3か月）





月別の天候

11月	12月	1月
<p>次第に冬型の気圧配置が現れるようになり、寒気の影響を受ける日があるでしょう。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置の強さはほぼ平年と同様の見込みです。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置の強さはほぼ平年と同様の見込みです。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

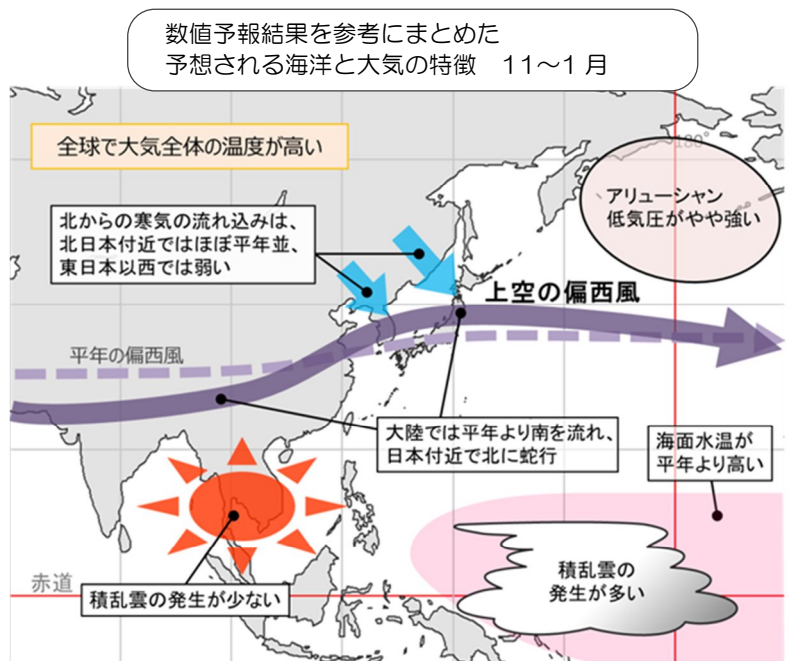
月別の平均気温・降水量

		平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北海道地方		低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です				
		平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
		低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
北海道	日本海側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	オホーツク海側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です				
		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
		少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上

予想される海洋と大気の特徴

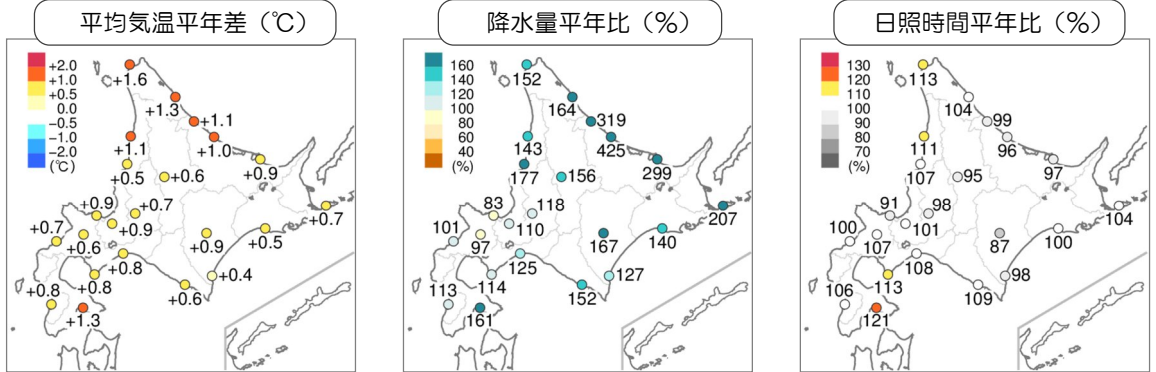
- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯域では、ニューギニアの東から太平洋東部で海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。
- 一方、ベンガル湾から南シナ海では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は大陸では平年より南を流れる一方で、日本付近では北に蛇行し、東・西日本から沖縄・奄美では北からの寒気の流れ込みが弱いでしょう。
- アリューシャン低気圧は平年よりやや強く、これに近い北日本には平年とほぼ同程度に寒気流れ込む見込みです。



今月の天候経過（実況） 10/1~20

（上旬）期間の中頃は高気圧に覆われて全道的に晴れましたが、台風や低気圧の影響により雨の降った日が多くなりました。特に1日は台風第24号の、7日は台風第25号から変わった低気圧や前線の影響により、全道的に雨が降り大雨となった所もありました（日降水量は1日に積丹町美国で92.5mm、7日に登別市カルルスで108.0mmなど）。

（中旬）11~12日は低気圧や気圧の谷の影響で全道的に雨が降りました。その後は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多くなりましたが、上空の寒気の影響で雨の降った所もありました（日降水量は15日に稚内市開運で66.5mmなど）。



（実況）10/1~20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
北海道地方	+0.9℃	166%	103%
北海道日本海側	+0.8℃	125%	103%
北海道オホーツク海側	+1.1℃	302%	99%
北海道太平洋側	+0.8℃	149%	105%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北海道地方	平年差：-0.4~+0.3℃	平年差：-0.5~+0.5℃	平年差：-0.4~+0.6℃	平年差：-0.7~+0.7℃
北海道日本海側	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.5~+0.6℃	平年差：-0.4~+0.7℃	平年差：-0.7~+0.8℃
北海道オホーツク海側	平年差：-0.2~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.6℃	平年差：-0.6~+0.8℃
北海道太平洋側	平年差：-0.4~+0.3℃	平年差：-0.5~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.5℃	平年差：-0.7~+0.5℃
札幌	-0.3~0.5℃	4.2~5.5℃	-1.4~-0.3℃	-4.3~-2.7℃
網走	-1.5~-1.1℃	3.4~4.2℃	-2.7~-1.8℃	-6.1~-4.7℃
釧路	-1.1~-0.7℃	3.9~4.6℃	-2.4~-1.5℃	-6.1~-4.3℃

	降水量 3か月	降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月	降雪量 3か月
北海道地方	平年比：95~109%	平年比：85~113%	平年比：87~110%	平年比：91~110%	平年比：96~105%
北海道日本海側	平年比：95~106%	平年比：88~106%	平年比：94~107%	平年比：90~108%	平年比：97~105%
北海道オホーツク海側	平年比：93~107%	平年比：78~117%	平年比：81~117%	平年比：79~109%	平年比：97~104%
北海道太平洋側	平年比：89~111%	平年比：77~118%	平年比：79~107%	平年比：71~118%	平年比：91~110%
札幌	300.3~354.0mm	82.8~115.5mm	96.6~119.0mm	103.6~131.7mm	297~368cm
網走	154.6~184.5mm	44.8~74.5mm	48.1~66.2mm	38.8~63.0mm	193~225cm
釧路	130.6~184.5mm	45.8~78.0mm	31.8~54.7mm	25.6~52.2mm	67~80cm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981-2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	11月		12月		1月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	11.7日	13.9日	11.2日	15.4日	11.6日	18.1日
網走	15.6日	9.9日	16.3日	12.0日	15.4日	12.9日
釧路	21.1日	6.7日	22.9日	5.8日	23.4日	5.0日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並；高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

寒候期予報の見直しについて

新しい予測資料をふまえて寒候期の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。